

施設名	青梅市図書館(中央1館・分館9館)		
指定管理者名	TRC青梅グループ		
指定管理期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	社会教育課
設置目的	市民の教育と文化の向上を図る		

評価ランク	評価内容
S	協定等を遵守し、仕様よりも優れた管理であった。
A	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
B	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
C	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

評価項目	評価内容	評価方法	指定管理者評価	評価理由	市評価	評価理由	
管理状況	適性な管理の履行	協定や事業計画に沿った管理が適切に履行されているか。 ・業務の履行(清掃・巡回の回数など)は適切か ・人員配置は適切か ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など	・協定書 ・年度協定書 ・職員配置表 ・連絡調整会議資料 ・事業報告書	A	・協定に沿った事業計画書を作成し、適切に実施している。 ・施設管理に関しては、実施担当者や巡回担当者と適切に連絡を取り合っており、協定等に則った管理に務めた。	A	施設については、日常・定期清掃により清潔な状態に保ち、空調調節により室内温度を快適に保っている。人員配置は、協定等により定められた方法で予定と結果が報告され、司書率も協定等のとおりになっている。
	事業報告	定められた期間での報告および連絡が指定管理者からされているか。	・職員配置表 ・連絡調整会議資料 ・事業報告書	A	・提出すべき報告書等に関しては、期限内で提出、連絡している。	A	定められた期間での報告および連絡がされている。
	安全性の確保	管理区域内の安全性については十分に確保されているか。 ・施設の安全性は確保されているか ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など	・協定書 ・年度協定書 ・連絡調整会議資料 ・ヒアリング	A	・施設内の安全性に関しては、常に留意し、協定等に則った管理を実施している。	A	管理区域内の通路等の整理がされており安全が確保がされている。
	法令等の遵守	個人情報保護のための体制、書類および情報の整理および保管等は適正であるか。 ・市への報告は適時、適切にされているか など	・ヒアリング	A	・弊社における個人情報保護に関する規定を順守し、年に一度実施される自社の監査においても指摘事項はなく、問題があれば市に報告は都度行っている。	A	個人情報のある書類や情報を厳重に管理し、職員研修を実施するなど個人情報保護対策が徹底されている。委員会への報告も適切になされている。
	業務記録	業務等の記録は、適正に作成、整理および保管がされているか。	・ヒアリング	A	・業務報告書や個人情報については、適正に作成、整理している。	A	日報や業務に関わる記録は施錠できるキャビネット内に整理し保存している。
	緊急時対応	災害時等の緊急時の体制は整っているか。	・危機管理マニュアル	A	・危機管理マニュアルに則り、緊急時の連絡の体制を整えています。	A	緊急時の体制を確立し、対応マニュアル整備している。
		災害時等の緊急時の対応研修、訓練等を行っているか。	・危機管理マニュアル ・連絡調整会議資料	A	・火災に備えた避難訓練は、年に一度以上(昨年度は二度)実施しました。	A	防災訓練(年2回)を実施している。
適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか。 ・建物や器具の破損、物品の紛失等はあるか など	・連絡調整会議資料 ・事業報告書 ・ヒアリング	A	・軽微な建物、設備の損壊等には修繕費を充てた修理等を実施している。	A	備品等の破損は見られない。軽微な修繕に対し仕様書のとおり対応している。	
事業効果等	事業の取組	事業計画どおりのサービスが提供されているか。 ・事業の計画、実施、成果は計画どおりか など	・年度協定書 ・連絡調整会議資料 ・事業報告書	A	・年度末の新型コロナウイルス感染症拡大防止の時期を除き、事業計画通りにサービスを提供した。	A	2月までは事業計画どおりに実施している。(新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から3/1以降の事業は中止。)
	利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか。 ・利用者は事業計画どおりか(環境の変化など外部要因を考慮)	・年度協定書 ・連絡調整会議資料 ・事業報告書	A	・年度末のコロナ禍の時期を除き、事業計画通りの利用を提供した。	A	2月までは事業計画どおりの利用者を対象とした事業を実施している。(新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から3/1以降の事業は中止。)
	利用者意見の収集	利用者アンケート等を年1回以上実施し、利用者意見の収集をおこなっているか	・利用者アンケート	A	・毎年、アンケートを実施している。利用者のご意見聴取については随時実施している。	A	中央1/19、分館1/25～1/29に利用者アンケートを実施し、結果を公表している。
		利用者の満足度を得られているか ・職員の接客対応、利用条件等は適切か	・利用者アンケート	S	・利用者の満足度は95%程度で、職員の接客対応に関してもほぼ同程度の数値となっている。	A	利用者アンケートの「総合的な満足度」(満足およびやや満足合計)が、中央96%、分館87～100%であった。
	利用者意見に対する対応	利用者アンケート等による意見に対し、適切に改善策が講じられているか	・連絡調整会議資料	A	・改善可能なご要望であれば、改善できるように努めています。	A	利用者アンケートや常設の投書等の意見を活かし改善している。
	行政目的の達成	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか ・施設の設置目的を達成しているか ・市および関係機関との連携が適切に行われているか など	・連絡調整会議資料	A	・市からの提案の展示に関しては、ご要望に沿い、もれなく連携して実施している。	A	市立図書館の設置目的に沿った運営を行っている。また、図書館以外の市の事業に協力している。(展示等)
	その他提案内容等	指定管理者選定時に提案のあった事項等について、提案とおりに実施できたか	・連絡調整会議資料	A	・提案事業に関しては、「デジタル発信による地域資料の活用効率化」を除いて実施できた。	A	選定時の提案事業について指定管理5年間のうち4年間で、6事業のうち5事業が達成されている。
会計	処理	管理業務の会計に関する帳簿、書類の整備および保存は適正にされているか。	・ヒアリング	A	・会計処理に関しては、帳簿、書類の整備・保存をもれなく実施している。	A	管理業務の会計に関わる書類は、施錠できるキャビネット内に整理し保存している。
	管理	現金等の管理は適正であるか。また、金庫等の鍵の管理は適正であるか。	・ヒアリング	A	・現金の管理は適正に実施している。金庫の鍵に関しては、適切に管理している。	A	現金等については金庫内に保存し、カギについても適切に管理している。
収支状況	施設の収支決算状況	赤字決算に陥っていないか。 予算と決算に大きな相違があった場合はその相違の理由が的確である。	・事業報告書 ・財務諸表	A	予算編成の段階で消費税の見込み額が少額すぎたために支出が大きくなった。	A	赤字ではないことを事業報告書から確認した。
	指定管理者の収支決算状況	経常利益率(経常利益÷売上高×100(当期経常増益額÷経常利益×100))がプラスになっており、赤字決算に陥っていない。	・財務諸表	A	赤字決算とはなっていません。	A	経常利益率はプラスになっていることを財務諸表から確認した。
		借入金に依存した資本構造ではなく、自己資本比率(自己資本(または正味財産)÷総資本×100)が30%以上となっている。	・財務諸表	A	自己資本比率は62%程度となり、借入金に依存した資本構造とはなっていません。	A	自己資本比率が30%以上であることを財務諸表から確認した。
	流動比率(流動資産÷流動負債×100)が100%以上となり、事業継続の安全性に不安がない。	・財務諸表	A	流動資産÷流動負債=165%となり、健全な財務状況で、事業継続に問題はありせん。	A	流動比率が100%以上であることを財務諸表から確認した。	

1 指定管理者自己評価における評価理由、意見等

評点	数	記入欄 ・青梅市図書館の指定管理業務を4年間実施しており、開館時間の延長、利用者の読書の楽しみを広げる機会となる各種事業を実施するなど、利用者へのサービスを向上させてきました。また、平成30年度からは、市内26校(東小学校、東中学校を除く)の学校図書館への支援も開始したところで、31年度には2年度目を迎えました。 ・弊社の持つ図書館運営のノウハウを最大限活用することによって、これからも市民の教育と文化の向上を支援し、より多くの市民が利用できる図書館運営をこころがけていきます。
S	1	
A	20	
B	0	
C	0	

2 市の評価、意見等

評点	数	記入欄 連絡調整会議を毎月実施している。また、日頃からコミュニケーションがとれ、日常の意思疎通および情報共有ができています。 人材育成に努め、職員の研修や教育(新人研修、著作権研修等)を行い、能力向上に努めている。 図書館資料の選書について選書会議を必ず実施し、資料収集基準等にもとづき管理している。 選定時の提案事業のうち、未達成の1事業について指定管理最終年度に達成されたい。
S	0	
A	21	
B	0	
C	0	